

タイガーステンレスボトル 〈サハラスリム®〉

取扱説明書

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



品番

MSH-W型
(ポーチつきタイプ)

MSC-W型
(ポーチつきタイプ)

MSC型

※MSC型は、ポーチがありません。

ご使用方法

ご使用前に必ずコップ、内びん、中せんを洗ってからご使用ください。

1 コップ、中せんをはずす

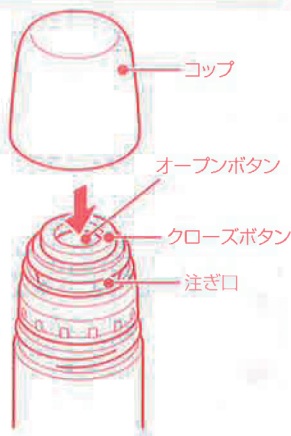
2 お湯(冷水)を入れ、中せんをしめる

- あらかじめ少量の熱湯(冷水)を入れ、予熱(予冷)をすると効果的です。
- 中せんを確実にしめた後、必ずクローズボタンを押してください。

※お湯(冷水)を入れすぎると、ボタンがかたくなります。そのような場合は無理やり押さず、一度中せんをはずしてから、少量のお湯(冷水)を捨ててください。(P3「お湯の量」の項目をご参照ください。)

3 お湯(冷水)を注ぐ

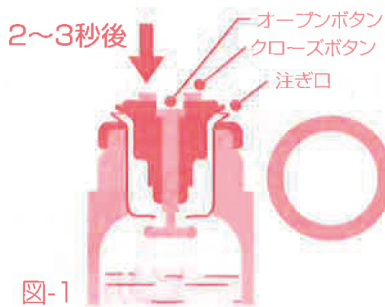
- 中せんのオープンボタンを指で押し、傾けると注げます。
- ※製品を傾けた状態で、中せんのオープンボタンを絶対に押さないでください。中の熱湯が勢いよく出て危険です。
- 熱湯を入れて振動を加えると、オープンボタンがかたくて押せないことがあります。このときは無理やり押さず、一度中せんをゆるめ、オープンボタンを押し、そのまましめなおしてください。オープンボタンを押した際に「シュッ」という空気が抜ける音がしますが異常ではありません。



次ページに内容が続く →

〈お願い〉

- 注ぎ終わったら、必ず本体をまっすぐに立てた状態にして、2～3秒後にクローズボタンを押してください。(図-1)



- 製品を傾けた状態でクローズボタンを押すと、中せんの内部に少量の「水滴」が残ることがあります。(図-2)
この「水滴」が後からもれて、衣服やかばんなどを汚すことがありますので、必ず製品をまっすぐに立ててからクローズボタンを押してください。

- コップは最後までしっかりとしめてください。

※ コップの内側に残った「水滴」は振り切った後、よくふいてください。



かばんなどに入れる場合は、万一のもれを防止するために、必ず製品を立てて入れてください。

必ずお守りください

もれたりあふれたりすると、やけどや他のものを汚す原因になります。

乳幼児の手の届くところには置かないでください。また、いたずらには充分にご注意ください。

やけどなどの
おそれがあります。



熱いものを入れた場合は
ボトルから直接飲まないで、必ずコップをご使用
ください。

やけどなどの
おそれがあります。



ポーチに上下逆に入れないでください。

正しい向きに入れないと、内容物が
もれる原因になります。

ポーチのひもを持って
振りまわさないでください。

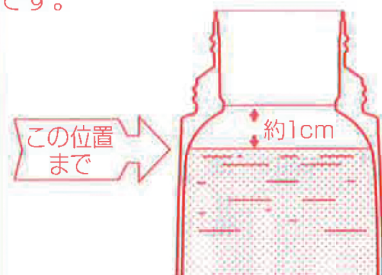
人や物に当たると危険です。

製品を傾けた状態や、
顔などを近づけた状態で、
中せんのオープンボタンを
絶対に押さないでください。

中の熱湯が勢いよく出て、やけど
をするおそれがあります。

お湯の量は、図の位置まで
にしてください。

入れすぎると、オープンボタンが
かたくなったり、中せんをしめる
ときにあふれることがあり、危険
です。



飲料物の保温、保冷以外
に使用しないでください。

中せんは確実にしめ、
必ずクローズボタンを
押してください。
その後、製品を傾けたり
して、内容物がもれない
ことをご確認ください。

内容物がもれるおそれがあります。

次のものは入れないで
ください。

- ドライアイス、炭酸飲料など
(内圧が上がり、中せんが開かなかったり、内容物が吹き出たり、中せん、コップなどが破損して飛び散るおそれがあります。)
- 牛乳、乳飲料、果汁など
(腐敗、変質の原因。また、そのまま長く放置した場合、腐敗、変質によりガスが発生し、本体の内圧が上がり、中せんが開かなかったり、内容物が吹き出たり、中せん、コップなどが破損して飛び散るおそれがあります。)
- みそ汁、スープなど塩分を含んだもの(さびるおそれがあります。)
- お茶の葉、果肉など
(目づまりや、もれる原因になります。)

コンロやストーブなど、
火気のそばには
近づけないでください。

樹脂部の変形、変色の原因に
なります。

注ぎ終わったら、本体を
立てた状態にして、必ず
クローズボタンを押して
ください。

内容物がもれるおそれがあります。

本体やコップの丸洗いは
しないでください。

水が浸入しサビの
発生や、他のもの
を汚すおそれ
があります。



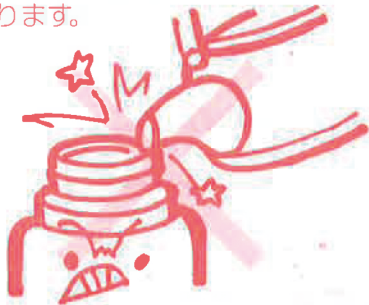
中せんの丸洗いや煮沸、
および食器洗浄機や
食器乾燥器などの使用は
しないでください。

熱による変形や、もれる原因に
なります。

ご注意とお願い

ボトルの肩部分に熱いやカンをあてないでください。

転倒して、やけどなどのおそれがあります。また、傷や変形の原因になります。



熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあります。

内びんにはお湯を入れ、お茶のときはティーバッグなどのご使用をおすすめします。

大きな氷を入れる場合は、押し込まず小さくしてから入れてください。

倒したり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。

表面がへこみ、保温効果が低下したり、もれるおそれがあります。また本体に傷がつくと、さびたりお手入れの際に、塗装がはがれたりすることがあります。

ポーチに入れたまま放置しないでください。

周囲の環境（湿度、塩分など）によりサビやにおいが発生することがあります。

シンナー類、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

傷やサビ、故障の原因になります。

塩素系漂白剤は使用しないでください。

さびたり穴があく原因になります。

ポーチは丸洗いしないでください。

丸洗いすると生地のはつれや、縮みの原因になります。

お手入れの方法

ご使用後は、いつまでも清潔にご使用いただくために必ずその日のうちにお手入れをしてください。

■ご使用前、およびお茶や糖分を含んだものなど、お湯以外のものを入れてご使用になった場合には、中せんを取りつけてオープンボタンを押した状態で注湯をくり返し、充分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。

■本体、コップは台所用合成洗剤をうすめたお湯を布に含ませ、かたくしぼりふいた後、乾いた布で充分にふいてください。

■内びんはご使用ごとに柔らかいスポンジできれいに洗い、充分乾燥させてください。

■ポーチはお湯を布に含ませ、かたくしぼって、ふいてください。

■ポーチのひもは色落ちしやすいのでご注意ください。水にぬれたり強くこすったりすると、色落ちして他のものを汚すことがあります。

※製品や部品の煮沸、および食器洗浄機や食器乾燥器などの使用はしないでください。傷やサビ、変形など、故障の原因になります。

※本体やコップの丸洗いはしないでください。

水が浸入し、サビが発生したり、他のものを汚したりします。

※シンナー類、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

傷やサビ、故障の原因になります。

※塩素系漂白剤は使用しないでください。さびたり穴があく原因になります。

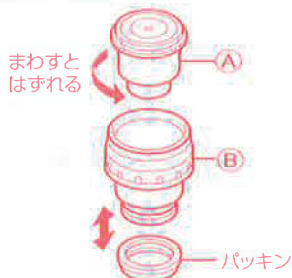
〈中せんのお手入れ方法〉

■中せんは①の部分に矢印の方向にまわすと①②の部分に分解できます。

■汚れやすい②の部分は、中まで丸洗いです。

①の部分は、お湯を布に含ませてふいてください。

■②のパッキンは、取りはずして丸洗いです。



※中せんの煮沸や①部分の丸洗い、および食器洗浄機や食器乾燥器などの使用はしないでください。

熱による変形や、もれる原因になります。

※中せんのパッキンは方向を間違えないように、正しくセットしてください。

お願い

中せんは消耗品です。

1年をめやすにご確認ください。

中せんの樹脂がザラザラしていたり損傷している場合は、タイガー製品販売店で品名・品番をお確かめの上、お買い求めください。

長時間使用しないときは、汚れを充分に落とし充分乾燥させてください。

故障かな?と思ったら

下記の点検をしても、なお不具合の場合は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

このような場合は	()内にあるページをご参照の上、お確かめください。
中さんから水もれする	●中さんの内部に内容物が残っていませんか。(P2) ●内容物を入れすぎていませんか。(P3) ●パッキンが正しく取り付けられていますか。(P7) ●中さんが正しくセットされていますか。(P7) ●中さんの丸洗いや煮沸、および食器洗浄機や食器乾燥器などの使用をしていませんか。(P4、P7) ●中さんやパッキンが消耗していませんか。(P7) ●中さんのオープンボタンを押した状態で、コップをしめていませんか。(P1) ●製品を落下させたり、激しい振動を加えたりしていませんか。(P5)
本体の底から水もれする	●底のカバーにある穴に、水が浸水していませんか。 ※本体を振って、水をぬいてください。また、丸洗いはしないでください。
オープンボタンが押せない	●内容物を入れすぎていませんか。(P3) ●ドライアイスや炭酸飲料などを入れていませんか。(P4)
本体内側(内びん)が変色した	●「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が付着していませんか。 ※内びんにはステンレス鋼を使用していますが、水質や不純物などにより、サビのような汚れや、カルシウム分などが付着する場合があります。このような場合は、クエン酸をぬるま湯でうすめて入れ、2～3時間後に柔らかいブラシできれいに洗った後、水で十分にゆすいでください。
保温(保冷)が効いていない	●熱い(冷たい)内容物を入れていませんか。 ●内容物の量が少なくありませんか。 ※寒冷地など、使用環境の厳しい状況では、十分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。
内びんや中さんから異臭がする	●汚れが付着していませんか。(P7) ●内容物を長時間入れたままにいませんか。(P7)